

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 133項目

検討中を除く取組項目数：115項目（進捗率86%） R2：111項目（83%）

検討中を含む取組項目数：133項目（100%）

		五十鈴川、塩見川、耳川、小丸川上流域							
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組	目標時期	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台	計
①情報伝達、避難計画等に関する取組	継続実施	6	5	5	5	4	6	4	35
		6	6	6	6	6	6	4	40
②住民の防災意識の向上に関する取組	継続実施 ※	7	7	6	6	5	6	1	38
		7	7	7	7	7	7	1	43
③地域の防災を担う人材の発掘・育成	継続実施	3	3	3	3	3	3	1	19
		3	3	3	3	3	3	1	19
④円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組	継続実施	5	5	3	2	5	3	0	23
		6	5	5	5	5	5	0	31

※ 土砂災害ハザードマップ作成・公表：平成33年度目標 ※ 上段青着色：検討中除き 下段無着色：全取組項目数

(2)主な取組内容

①について

- ・タイムライン・ホットラインの活用（全ての機関）
- ・防災計画の見直し（美郷町、諸塚村、椎葉村）
- ・要配慮利用施設における避難確保計画の作成、防災訓練等の推進（日向市・美郷町）

②について

- ・L2ハザードマップの改定・周知（門川町、美郷町、日向市（周知））
- ・ハザードマップの更新（諸塚村）

③について

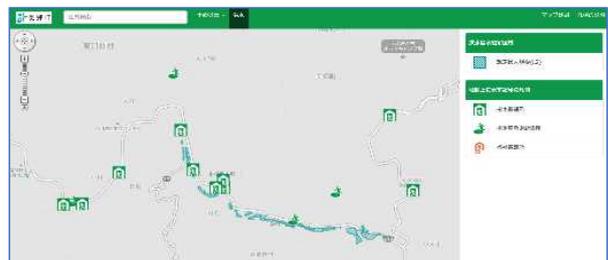
- ・防災士取得支援（助成金）を実施（日向市・門川町・諸塚村・椎葉村）
- ・消防団との連携強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村）

④について

- ・防災備蓄の強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村）
- ・防災拠点施設として新庁舎の整備（門川町）
- ・簡易型監視カメラ、危機管理型水位計の設置、雨量局・水位計等の機能向上（宮崎県）



門川町新庁舎（防災拠点施設）



ハザードマップ改定（美郷町WEB版）

■取組方針フォローアップ

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 42項目

検計中を除く取組項目数：37項目（進捗率88%） R2：37項目(88%)

検計中を含む取組項目数：42項目（100%）

		五十鈴川、塩見川、耳川、小丸川上流域							
(2) 的確な防災活動のための取組	目標時期	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台	計
① 防災体制の強化に関する取組	継続実施	4	4	4	4	4	3	-	23
		4	4	4	4	4	4	-	24
② 災害時に拠点となる施設の自衛防災	継続実施	2	3	3	2	1	3	-	14
		3	3	3	3	3	3	-	18

※ 上段青色：検計中除き 下段無着色：全取組項目数

(2)主な取組内容

①について

- ・水防避難訓練等の実施（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）
- ・被災箇所ドローン調査にかかる打合せ（宮崎地方気象台）
- ・水防団間の連携強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村）

②について

- ・登録メールシステムや屋外スピーカーの設置による情報伝達の多重化（椎葉村）
- ・施設の防災対応力強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・宮崎県）
- ・自衛防災マニュアル整備（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）



コロナ対策避難所運営訓練（門川町）



防災訓練（救急救命講習）（美郷町）



ドローン調査にかかる打合せ
（宮崎地方気象台）

椎葉村メール配信サービスを登録しよう!!

椎葉村メール配信サービスとは…

防災情報や役場からの情報などを、メールやLINE等でお知らせするサービスです。登録は無料です。※ただし通信料は別途発生します。

登録できるメディアは次の4つです

メール LINE 電話 FAX

【メール、LINEで登録する方】

- ①QRコードからアクセス
- ②希望するメディアをクリック
- 【メールの場合】空メールを送信
- 【LINEの場合】友だち登録
- ③通知が届いたら登録URLをクリック
- ④登録完了

【電話、FAXで登録する方】

個別に対応いたします。椎葉村役場までご相談ください。

- 防災情報
- 気象情報
- 職工観光情報
- 送迎情報
- ゴミ収集
- 新型コロナウイルス情報 など…

希望する配信カテゴリを自由に選択できます。是非、登録をお願いします。

※お問い合わせ先：椎葉村役場 総務課
電話：0985-97-3231

お問い合わせ先：椎葉村役場 総務課
電話：0985-97-3231

<https://plus.gunmail.com/jp/0985973231>



情報伝達の多重化（椎葉村）



災害対策本部運営訓練（日向市）

■取組方針フォローアップ

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 46項目

検討中を除く取組項目数：31項目（進捗率67%） R2：31項目(67%)

検討中を含む取組項目数：46項目（100%）

		五十鈴川、塩見川、耳川、小丸川上流域							
(3) 被害の軽減・早期復旧に関する取組	目標時期	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台	計
		① 被害軽減の取組	継続実施	3	4	2	2	2	5
		4	4	4	3	3	5	0	23
② 早期復旧の取組	継続実施	2	3	1	2	2	3	0	13
		4	4	4	4	4	3	0	23

※ 上段青色：検討中除き 下段無着色：全取組項目数

(2)主な取組内容

①について

- ・樋門点検や操作訓練の実施（日向市・門川町・宮崎県）
- ・土砂災害警戒区域設定及び説明会実施（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）
- ・河川・砂防・急傾斜事業の推進（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）

②について

- ・水防資機材の確認と充実（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）



樋門点検（日向市赤岩川）



危険箇所調査（椎葉村）



危険箇所調査（諸塚村）



土砂法説明会（美郷町）

日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和2年度実績及び令和3年度の予定

- 概ね5年間で達成すべき目標
 - 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
 - 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	令和2年度						
				年度実施主体	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組										
(1)-1 情報伝達、避難計画等に関する取組										
①	ホットラインの実施、改善	Aロ	継続実施	取組内容 7/4 耳川 水防団待機水位 7/4 耳川 避難判断水位 9/6 土砂災害警戒情報 9/6 耳川 水防団待機水位 9/6 耳川 氾濫注意水位 9/6 耳川 避難判断水位 9/7 耳川 氾濫危険水位	7/4 五十鈴川 氾濫注意水位 9/6 五十鈴川 氾濫注意水位	7/4 五十鈴川 水防団待機水位 9/6 五十鈴川 氾濫注意水位 小丸川 氾濫注意水位	実績無し	7/4 土砂災害警戒情報 7/7 土砂災害警戒情報 7/11 土砂災害警戒情報 9/6 土砂災害警戒情報	【水位情報】 7/4 日向市に発信 9/6 日向市、美郷町に発信 【土砂災害警戒情報】 7/4、7、11 椎葉村に発信 9/6 日向市・美郷町・椎葉村に発信	土砂災害警戒情報や大雨警報発表時など災害のおそれがある場合などに気象台、県・各市町村間のホットラインを適宜実施している。 気象台長から首長へ非常時に備えた訓練のホットラインを実施し、台風第10号接近時にはすべての首長へホットラインによる呼びかけを行った。 引き続き、ホットラインについて周知を行い活用を進める。
②	タイムラインの活用、改善	Bロ	継続実施	取組内容 H29.5.30 減災協議会にてタイムライン・ホットラインを整備 気象台～自治体間については平成26年度から台長及び首長クラスの携帯電話番号を交換して、体制を構築済み	台風第18号等において、各機関がタイムラインに則り、適切に防災行動をとった。					
③	様々な方法を活用した災害危険性の周知	C D イ	継続実施	取組内容	【土砂災害防止講座】 コロナ感染防止のため中止 【土砂災害防止教室】 令和2年5～6月 構成市町村内1小学校・中学校 【防災の日啓発】 令和2年4月1日～5月31日 (テレビ、ラジオCM、チラシ、ポスター制作) 【防災週間】 令和2年8月12日～9月5日 (テレビ、ラジオCM、リーフレット、ポスター制作、YouTube)					
④	ICTを活用した災害情報の提供	C	継続実施	取組内容	県総合河川砂防情報システム(土砂災害危険度情報システムを含む)等により、災害の危険性等の情報をリアルタイムで提供 防災メールで県民向けに雨量や水位等の防災情報を提供					
⑤	隣接市町村等における避難所の設定(広域避難体制の構築)	E	H29年度～順次実施	取組内容 日向・入郷地区防災専門部会において、管内の災害時受援計画等の策定について協議中	進捗：継続					
⑥-1	浸水想定区域又は土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の市町村地域防災計画における速やかな指定	Fニ	H29年度～順次実施	取組内容 区域指定にあわせ、随時見直しを行う。	令和元年に五十鈴川洪水ハザードマップの改定を行い、浸水想定区域内の要配慮者施設について洗い出しを行った。今後は、要配慮者施設に説明をおこない、防災計画における指定を進めていく。	令和2年度中に防災計画の見直しを行った。今後も順次見直しを行う。	令和2年度に防災計画の見直しを実施	浸水想定区域なし 土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設は令和2年度の防災計画の見直しにより指定	県管理河川の対象河川35河川の想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済 【日向管内】 耳川、塩見川、五十鈴川、小丸川 土砂災害警戒区域等の指定の推進	
⑥-2	要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の推進	Fニ	H29年度～順次実施	取組内容 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の推進を図った。引き続き、計画の見直しも含め推進を図っていく。	防災計画に施設の指定を進め、各施設の避難計画の作成、訓練の実施を推進していく。	要配慮者利用施設管理者(4事業所)にて避難確保計画を策定済み。 その他福祉施設、病院、診療所、学校等において作成を推進していく。	令和2年度に防災計画を見直したため、令和3年度に避難確保計画の策定を促す。	各施設における避難確保計画作成を推進し、避難訓練を各施設で毎年実施するよう推進している。	市町村に対し、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成の推進を依頼	
⑦	地域防災計画における避難勧告等発令基準の妥当性の検討	ハ	継続実施	取組内容 発令基準の見直しを随時検討していく。	発令基準の見直しを随時検討していく。	発令基準は定めているが、継続して検討中	避難勧告の発令基準は定めているが、継続して検討中	法改正による発令基準の見直しを実施されるため、見直しを実施していく	進捗：継続	
(1)-2 住民の防災意識の向上に関する取組										
①	想定最大規模の降雨に係る浸水想定区域の指定	G	継続実施	取組内容	県管理河川の対象河川35河川の想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済 【日向管内】 耳川、塩見川、五十鈴川、小丸川					
②	浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の周知促進	Gト	継続実施	取組内容	県HPにおいて、土砂災害警戒区域等を周知。 また、土砂災害防止講座等においても情報等の提供について周知。					

日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和2年度実績及び令和3年度の予定

- 概ね5年間で達成すべき目標
 - 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
 - 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	令和2年度							
				実施主体	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台
③	洪水ハザードマップの作成、改訂、周知、支援	G	継続実施	取組内容	令和元年度に策定のハザードマップ、WEB版を活用して周知を行った。引き続き、防災講座等での周知、啓発を実施していく。	令和元年度に五十鈴川洪水・土砂災害ハザードマップを改定し、令和2年6月に全世界配布した。	令和2年度にWEB版ハザードマップを構築し、令和3年4月中旬にホームページにおいて更改予定。	令和2年度にHMを更新	浸水想定区域はないが、危険箇所の周知を図っていく	上記(1)ー2ー①と同じ	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
④	土砂災害ハザードマップの作成、周知、支援	チ	～平成33年度	取組内容	令和元年度に策定のハザードマップ、WEB版を活用して周知を行った。引き続き、防災講座等での周知、啓発を実施していく。	令和元年度に五十鈴川洪水・土砂災害ハザードマップを改定し、令和2年6月に全世界配布した。	令和2年度にWEB版ハザードマップを構築し、令和3年4月中旬にホームページにおいて更改予定。	令和2年度にHMを更新	ハザードマップの見直しと周知を図る	これまでに門川町にてマイハザードマップの支援。	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
⑤	まるごとまちハザードマップやマイハザードマップの取組	G(へり)	H30年度～順次実施	取組内容	WEB版ハザードマップを活用し、マイハザードマップ作りを進めていく。	令和2年度は避難場所標識を作成した。令和3年度は避難誘導看板の設置を進めていく。	検討中	検討中	作成に向けて引き続き検討を行う	土砂災害に関するマイハザードマップづくりの支援は、門川町にて実施。	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
⑥	過去災害実績等の周知	Gホへ	継続実施	取組内容	台風接近前に、過去の類似台風の進路や被害記録などを対策本部内で共有した。	H28の台風16号や内水氾濫についてハザードマップに掲載し、周知している。	台風接近前に、過去の類似台風の進路等について対策本部内で共有した。	継続して実施する	防災訓練や消防団へ継続して実施していく	【土砂災害防止講座】 コロナ感染防止のため中止 【土砂災害防止教室】 令和2年5～6月 構成市町村内1小学校・中学校 【防災の日啓発】 令和2年4月1日～5月31日 (テレビ、ラジオCM、チラシ、ポスター制作) 【防災週間】 令和2年8月12日～9月5日 (テレビ、ラジオCM、リーフレット、ポスター制作、YouTube)	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
⑦	住民参加型の防災訓練や共同点検出前講座の拡大	H	継続実施	取組内容	地域や学校、事業所などの訓練支援及び防災講座を実施した。今後も、継続して取り組んでいく。	毎年実施している町一斉避難訓練について、令和2年度は新型コロナウイルス拡大防止のため中止した。	毎年実施している。	毎年実施しているが、今後も継続的に実施する	防災訓練を毎年実施している	市町村が実施する防災訓練等に参加するなど、今後の取組を検討する。	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
⑧	教育機関と連携した防災教育の促進	HIへ	継続実施	取組内容	小中学校、県立学校での訓練支援や防災教育についての連携を図った。今後も、継続して取り組んでいく。	学校安全連絡協議会で関係機関と連携をとり、門川中学校DIG訓練や小中学校の全校一斉避難訓練を実施した。	避難訓練等を利用し防災教育を行う。	避難訓練等を利用し防災教育を行う	教育委員会と連携して実施していく		宮崎県教育庁主催の学校安全教育推進委員会において、学校安全教育推進校における取組について意見交換や情報交換を行った。引き続き、宮崎県教育庁と連携し、防災教育を推進していく。
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
⑨	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	HI	継続実施	取組内容	広報ひゅうがでの防災特集や地域の訓練での啓発を実施していく。	町広報において、防災ページを設け防災意識啓発を行っている。	町HPや町ケーブルTVを通じて啓発したい。	村HPや広報紙などを通じて啓発の継続実施を行う。	村広報誌を通じて継続して実施していく		
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
(1)ー3 地域の防災を担う人材の発掘・育成											
①	防災士の登録拡大を推進	J	継続実施	取組内容	令和元年度までに346人が取得し、令和2年度は13人が新たに取得した。	防災士取得促進助成金を交付し、登録拡大を図っている。また、門川町防災士会で防災士のスキルアップや連携を深めていく。	防災士資格取得補助金については、現在検討している。	消防団に対する取得の助成は行っているが、今後は消防団員以外の取得支援について検討を行う。	資格取得の助成を継続して実施していく	地域の防災リーダーを育成するため、防災士養成研修を実施している。	県からの委託を受け防災士ネットワークが実施する防災士養成研修において、講師派遣等の協力を行い、受講環境の整備を行った。引き続き、講師派遣等を行う。
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
②	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	J	継続実施	取組内容	災害時の情報収集に関して、消防団との連携強化を図った。今後も訓練等を通じ連携を高めていく。	日向土木事務所、自主防災組織、消防団との情報収集電伝訓練を実施した。	関係機関との訓練等を通じ連携を高めた。	関係機関との訓練等を通じ連携を高める。	消防団や自主防災組織との連携強化を継続して実施していく	関係市町、関係団体と防災対策会議及び防災訓練を実施	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
③	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	J	継続実施	取組内容	コミュニティ助成等を活用して自主防災会の資器材の充実を努めた。	自主防災組織活動補助金を通して活動の活性化を図っている。	毎年実施している「町統一防災訓練」を通じ連携強化を図りたい。	消防団、自主防災組織との訓練等を通じ連携を高める。	消防団や自主防災組織との連携強化を継続して実施していく	地域や学校、企業の防災訓練や研修会に防災士を講師として派遣している。	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続
(1)ー4 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組											
①	河川監視カメラ配置計画の再検討	K	H30年度から順次実施	取組内容	簡易型河川監視カメラを15基、危機管理型水位計7基に設置。						
				進捗状況	進捗：継続						

日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和2年度実績及び令和3年度の予定

- 概ね5年間で達成すべき目標
 - 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
 - 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	年度	令和2年度					
					実施主体	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村
②	安定した雨量・水位情報等を提供できるよう観測局の機能向上及び適切な維持管理等	K	継続実施	取組内容	[内容略]					
③	新たな情報伝達手段の整備	M	H30年度から順次実施	取組内容	「防災情報配信サービス」の登録者拡大に継続して努めていく。					
④	防災ステーション、避難所等の防災拠点、アクセス路の整備	N	H30年度から順次実施	取組内容	分散備蓄体制の整備検討を行っており、令和3年度に備蓄倉庫1棟の整備を計画している。	防災拠点施設として新庁舎が完成した。また、避難所に防災用備蓄倉庫やテレビを整備した。	西郷地区ニューホープセンターの一室に備蓄倉庫を整備した。	村長期計画も含め、総合的に検討する	各避難所対策の充実を検討していく	市町村の計画等を踏まえ、必要な対策を検討していく
⑤	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難所の確保	O	継続実施	取組内容	避難路及び避難場所の整備を支援した。今後も、支援を継続していく。	自主防災組織活動補助金を活用し、自主防災組織で避難経路や避難所の整備を進めている。	浸水想定区域の見直し及び基礎調査結果を踏まえ、今後検討を行う。	基礎調査結果を踏まえ、R2にHMを作成。避難経路や避難所も含めて検討を行った。	避難所や避難路の見直しを継続して実施していく	[内容略]
⑥	浸水や土砂災害による途絶を考慮した指定避難所等における防災備蓄の強化	P	継続実施	取組内容	市備蓄計画に基づいた備蓄品の購入とあわせ、指定避難所等への備蓄の強化を図っていく。	自主防災組織活動補助金を活用し避難場所の備蓄倉庫の整備を進めている。指定避難所に備蓄倉庫を整備し、防災備蓄を年次的に整備している。	土のうやスコップ等は、消防団が管理している。その他の備蓄品については、関係機関と協力しながら配備したい。	備蓄品については毎年確保を行っているが、避難所への配備については今後検討を実施する。	H29から県の備蓄計画に基づいた椎葉村備蓄計画を作成し、備蓄を開始しており、適正な維持管理を行っていく	[内容略]
⑦	要配慮者の利用を想定した避難所等の整備	Q	H30年度から順次実施	取組内容	避難所のバリアフリー等について検討していく。	車椅子や段ボールベット等要配慮者を考慮した避難所備蓄資機材の整備を年次的に整備している。	一部の施設は整備されている。未整備箇所については、検討していきたい。	村長期計画も含め、総合的に検討する	避難所のバリアフリー化等を検討していく	市町村の計画等を踏まえ、必要な対策を検討していく
⑧	防災メールへの登録促進	スL	継続実施	取組内容	「防災情報配信サービス」の登録者拡大に継続して努めていく。					
② 的確な防災活動のための取組										
②-1 防災体制の強化に関する取組										
①	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	R	継続実施	取組内容	各消防団が所有している資器材の点検や倉庫管理している資器材の品目・数量等をデータベース化し、定期的に数量等の確認を行った。	毎年、水防資機材の確認、充実を図っていく。	自主防災組織や消防団に水防資機材の確認を実施	継続して実施する	継続して実施していく	これまでに五十鈴川(更生橋)のはん濫危険水位等の見直しを実施
②	水防団等の確保に関する取組を推進	S	継続実施	取組内容	SNS等での消防団活動の情報発信を行うとともに、メディア等を活用した団員募集の案内を行った。	令和2年度より消防団OBを対象とした大規模災害団員制度を開始した。	今後も継続的に取り組んで行く。	今後も確保に向けた取組を継続的に実施する。	継続して実施していく	総合評価落札方式による入札において、消防団員の雇用を評価
③	水防訓練、避難訓練の充実	スル	継続実施	取組内容	地域や学校、事業所などの訓練への支援を行った。	毎年実施している町一斉避難訓練について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	毎年9月に、町統一防災訓練を実施。今後も継続して実施する。	継続して実施する	椎葉村防災訓練に合わせて継続して実施していく	関係市町、関係団体と防災対策会議及び防災訓練を実施
④	水防団間での連携協力に関する検討	S	継続実施	取組内容	定期的に行われる消防団部長会及び近隣消防団との合同研修において連携と協力を確認した。	消防団幹部会で連携強化を図っている。	統一防災訓練時に自主防災組織と消防団で連携を図っている。	継続して実施する	近隣消防団との更なる連携協力を実施していく	市町村の要望に応じて、広域消防体制の構築に向けて、検討していく。
②-2 災害時に拠点となる施設の自衛防災										
①	施設関係者への情報伝達の充実	T	継続実施	取組内容	台風接近前に関係課を通じて、情報伝達の確認を行った。	常時から施設関係者と連絡を取り合い、情報伝達を確認している。	自主防災組織の責任者(区長)への連絡について、区長会にて依頼した。	情報伝達手段の見直し等を行い、確実に情報提供出来るよう検討した。	登録制メールシステムや屋外スピーカーの設置により情報伝達の多重化を実施した	タイムライン・ホットラインを活用し、市町村への情報伝達の徹底を推進
②	施設の耐震化や耐水扉の設置、非常用発電等の整備を促進	T	継続実施	取組内容	庁舎以外の拠点施設に関しても、耐震化や非常用発電等の整備を検討していく。	新庁舎には免震性、耐火性をもたせ、非常用発電機や太陽光パネルを整備した。	H29の新庁舎建設時に非常用発電装置の設置を行った。	継続して実施する	庁舎以外の拠点施設に関して、整備を検討していく	庁舎の耐震化、非常用電源の冠水対策を実施
③	自衛防災マニュアル整備の促進	T	継続実施	取組内容	避難所運営マニュアル別冊を作成し、各自主防災会に配布した。	町内事業所が防災マニュアル整備の際には、助言・意見の協力をしている。地区防災計画については、地区に周知を図り、策定を目指す。	一部、自主防災組織においてマニュアル作成をしている。	継続して実施する	B C Pや職員初動マニュアル等の見直し等を継続して実施していく	防災マニュアルを整備
③ 被害の軽減・早期復旧に関する取組										
③-1 被害軽減の取組										
①	樋門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証	U	継続実施	取組内容	水門管理点検を継続して実施していく。	出水期前に樋門の点検、操作確認を実施した。	必要に応じ検証する。	[内容略]	[内容略]	関係市町と連携し、出水期前に樋門操作訓練を実施
②	災害危険区域等の指定推進	W	継続実施	取組内容	土砂災害警戒区域等の指定の推進	土砂災害警戒区域の指定の推進	土砂災害警戒区域等の指定の推進	関係機関と連携して実施していく	関係機関と連携して実施していく	水害危険区域の指定にあたって参考となる、想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済【日向管内】耳川、塩見川、五十鈴川、小丸川

日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和2年度実績及び令和3年度の予定

- 概ね5年間で達成すべき目標
 - 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
 - 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	令和2年度							気象台
				実施主体	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	
③	浸水被害軽減地区の指定	W X	継続実施	取組内容	県や関係部局と連携し、検討を行う。	本町には浸水被害軽減地区に該当するような地区はない。	関係部局と連携し検討を行う。	関係部局と連携し検討を行う。	関係機関と連携して検討していく	上記③-1-②と同じ	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	
	④	総合流域防災計画に基づく確実な施設整備を推進すると共に適切な維持管理に努める。	Y	継続実施	取組内容						
⑤	土砂災害から住民を守る施設の整備を行う。	Y	継続実施	取組内容	急傾斜地の対策事業を進めている	急傾斜地の対策事業を進めている。	国・県の砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の実施や町単独の事業を実施している。	急傾斜地の対策事業を進めている	急傾斜地の対策事業を進めている	構成市町村内21地区において、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業を実施	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	
③-2 早期復旧の取組											
①	水防資機材の保有状況の確認、見直し	V	継続実施	取組内容	各消防団が所有している資器材の点検や倉庫管理している資器材の品目・数量等をデータベース化し、定期的に数量等の確認を行った。	保有状況については毎年度確認している。今後資機材の充実を図っていく。	随時見直しを継続する。	随時見直しを継続する	資機材の点検や見直しを継続して実施していく	毎年度、出水期までに水防資機材の確認を実施	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	
②	ライフラインを確保するための復旧優先施設の検討	Z	継続実施	取組内容	災害時に拠点となる施設について検討する。	地域防災計画に基づき検討する。	医療機関、福祉施設、避難所等の重要施設について検討したい。	関係機関との連携を行い、検討する。	関係機関との連携を図り、検討していく	日向土木BCP計画を策定しており、有事の際は計画に基づき行動する。	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	
③	復旧の優先度や支援団体の配置を指揮・調整する復旧対策指揮体制の構築	Z	継続実施	取組内容	災害対策本部及び関係機関と連携を行い検討する。	災害対策本部における指揮体制を図る。	災害対策本部にて指揮体制を図りたい。	関係との連携を行い、検討する。	災害対策本部業務の充実を継続して検討していく	日向土木BCP計画を策定しており、有事の際は計画に基づき行動する。	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	
④	災害時受援計画の策定	Z	H30年度から順次実施	取組内容	策定した受援計画について、随時見直ししていく。	日向入郷の市町村で策定に向けての協議を重ねた。 ※全体計画策定後、各市町村において個別に受入計画の策定が必要。		災害時受援計画を策定済み。	災害時受援計画を策定済み。随時見直しを行う。		
				進捗状況	進捗：継続		進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続		